

三重県の NPO を応援する情報誌 **リーダ-**

READER

地域 × 大学

2017

1

2016年12月25日発行
通巻217号

波瀬地域住民の心の拠りどころ / 旧波瀬小学校

写真提供：波瀬むらづくり協議会

自分たちでできることは自分たちで

松阪市飯高町波瀬地域は西端の高見山を境に奈良県東吉野村に接しており、1,000m級の山々に囲まれている山里である。地域の人々が高齢化や人口減を嘆くよりも、波瀬の魅力を伝え、「人の寄るまち」にしたいと前向きに生きる姿に、取材を通して感銘を受けた。

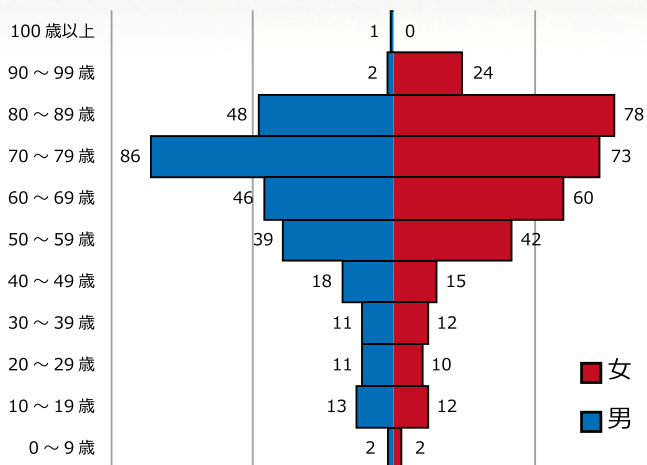
はげ
地域に残された住民の誇り、波瀬小学校が2008年（平成20年）3月末に休校、空き校舎となったことが背景にあり、人々の心を動かしている。

元々、地域の人々のむらづくりへの想いは強く、行政に頼るのではなく「自分たちでできることは自分たちでしょう」を合言葉に、2007年7月に“波瀬むらづくり協議会”[※]が設立され、住民の連帯感は一層高まった。

長年の地域ぐるみの活動が評価され、平成25年度豊かなむらづくり全国表彰において、日本農林漁業振興会会長賞・農林水産大臣賞を受賞し、今後への励みとなっている。

※1981年7月に設立された波瀬地域開発推進協議会を前身とする。

波瀬地区の人口ピラミッド（2013（平成25）年10月1日）



テントも自分たちで



“クレソンうどん”を打ち、伸ばす



アマゴつかみの後は焼く準備

山の達人、寺谷さんは波瀬の木々が見せる“いのちの循環”を学んでほしい、とパンフレットにメッセージを寄せた。

旧波瀬小学校も“波瀬ゆり館”として体験学習の場に利用され、松阪の小中学校の子どもたちのにぎやかな声が響くようになり、地域の人々の心の拠りどころともなっている。

「生きる」を学ぶ

自然、人、歴史、全ての生きとし生けるものの『生きる』を学ぶ
体験学習のカリキュラムは、「限界集落に限界はない」を合言葉に、
関西学院大学の学生たちや先生の協力を得て、地域の方々との話し合いを重ねながら、練り上げられ、つくられた。

「山」「川」「里」という 3 つのキーワードで構成された体験学習のインストラクターには、長年培ってきた技術や知識を持つ多くの地域住民が「達人」として携わっている。



飯盒（ごう）炊飯用の新割り

現場の実践から ～関西学院大学 人間福祉学部 橋川健祐 助教 インタビュー～

◆大学として良かった点は？



福島と三重の子どもの交流キャンプ

関西学院大学人間福祉学部は、現場の実践から学ぶことを第一にしている学部である。講義や本で学ぶには限界があり、現場の実際を、五感をフルに活用しながら気づき、考え、ときにはゆらぎながらも、まとめ、構想していくことが大切であると考え。波瀬との関わりは丸 7 年になる。他大学などでのフィールドワークでは外部の目を生かす、若い感性で何かに取り組むといったことばかり取り上げられがちだが、常に「地域の人たちから学ぶ姿勢」を大切に、波瀬地域との関わりの中で学生だけでなく、教員も成長させていただいてきた。

◆学生の反応・感想や変化があれば？

実際に現場で起きていることに触れたり、直に住民から波瀬の良さや魅力を感じた学生は、学校に戻ってからも、そのことを他の学生たちに話してくれている。また、課題や困り事に直面したり、生の声を聴いた学生は、それに対して自分たちにできないかかと考える。「現場に出る」ことは、学生にとってはハードルの高いことだと思うが、そこからしか生まれてこない自発性やアクションがあったのではないかなと思う。一度、波瀬に行くと、必ずといっていいほど「また行きたい」という声が聞かれる。波瀬の恵まれた自然環境もさることながら、あたたかく受け入れてくださり、さらには「また来てね」と声をかけてくださるからこそだと感じる。

<取材にご協力いただいた方>

波瀬むらづくり協議会 会長 福井 弘さん 事務局長 寺脇 充さん

関西学院大学 人間福祉学部 助教 橋川 健祐さん

URL <http://muradukuri-kyogikai.jimdo.com/>



協議会の役員さんを前に感想を発表する関西学院大学の学生たち



健康に役立つ食生活をテーマに発表する三重大学の学生

三重ぐるり MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「社会教育」。社会教育に関わる活動をしている団体を、県内の市民活動センターから紹介していただきました。

あげきっ子民謡保存会

情報提供：みえきた市民活動センター

〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜 1137-1 ☎0594-72-2674



阿下喜八幡祭

地域に伝わる民謡、「阿下喜小唄」、「阿下喜音頭」を子どもたちに伝承していくことを目的に活動しています。

毎週金曜日の夜に地域の赤神会館を借りて、唄や踊り、三味線太鼓などを年齢に応じて練習しています。現在4歳～高校生まで約20人が参加しており、三味線や太鼓は小学3年生になると担当することができ、小さい子たちはそれを目指して取り組んでいます。子どもたちが和楽器にふれ、特に昔の労働歌と言われた民謡を唄うことで、その土地土地の方言、習慣、風景等、日本古来のものの良さを少しでも読み取ってくれることを願っています。

地元の民謡だけでなく、各地の民謡も練習し、レパートリーを増やして、地域の八幡祭や、大西神社の秋祭りを始め、いなべ市の市民文化祭、スマイルフェスタなどに出演しています。また、敬老会や、介護施設、保育園などからの出演依頼もあります。子どもたちの練習の成果を発表する機会を作り、多くの方に見てもらうことで励みにしてもらいたいです。

興味のある方はご一報ください。

子どもたちは地域のマスコットの存在となり、地域の方からあたたかい声かけをいただくこともあり、地域の世代間のつながりに一役かっています。

MIEMO (ミエモ)

情報提供：津市市民活動センター

〒514-2328 津市安濃町草生 4128-3 ✉miemokei@gmail.com



「みえものづくりフェスタ」ブース出展

お店で売っている同じプラモデルでも、作る人によって全く異なる作品が完成することが模型製作の魅力の一つです。

普段見ている風景やTV・映画、学校で勉強したこと、読んだ本、更にはそれぞれの感性を手軽に作品に投影出来るプラモデルを通じて、地域の皆様の好奇心が高まり豊かな感受性が育めることと考えています。

また、模型製作ではカッターなど刃物の扱い方や立体感覚の養成、歯車など動力の仕組み、電気の仕組みなど、実際に学問として必要な知識の習得にも繋がると思います。

そのきっかけ作りとしてMIEMOでは、誰でも気軽に参加できる模型イベント「三重プラモサミット」や「模型製作会」を開催して多くの地域の皆様が模型と触れ合う機会を提供しています。

直近では3月12日に津センターパレス地下市民オープンステージにて模型製作会を開催いたします。ご興味のある方は是非お問い合わせください。

メールにてお問い合わせください。

一人で行う趣味と思われがちですが、展示会の企画運営や他所のイベント参加および、技術向上の模型製作会等を通じてお互いの交流を深めています。

ビットカンパニー

情報提供：松阪市市民活動センター

✉ bitcompany_m@yahoo.co.jp



演劇ワークショップ

演劇を通じた活動で、子どもの伝える力、コミュニケーション力などを育み、子どもたちの自己肯定感が高まる「場」を提供しています。2016年4月設立。メンバーは大学生～60代の南勢地区の演劇人6名で、役者、演出、脚本、音響、照明など各自の専門性を活かし活動しています。南勢地区では、小学生が演劇に触れる機会が少ないことから、今年は松阪・伊勢を中心に小学生を対象にした演劇ワークショップを3回開催しました。ワークショップでは、「だるまさんがころんだ」など身近な遊びと“演じること”を組み合わせ楽しんだり、身体を使って表現したり、仲間と一緒に物語をつくり、発表したりします。ワークショップの中では、自分で考えたことはすべて“正解”。学校など「集団」では、恥ずかしさや失敗への不安から思うように表現できない子も、心も体も安全な場所でチャレンジできる、成功体験の場づくり、新しい居場所づくりをめざしています。今後は演劇ワークショップの事業化にも取り組む予定です。

メールにてお問い合わせください。ワークショップの学生ボランティア（中学生以上）も募集中です。

「演劇」は触れる機会が少なく、特別なものと捉えられがちですが、子どもも大人も誰でも関わり、楽しめるものです。ワークショップでは、誰でも楽しめるプログラムを用意していますので、気軽にご参加ください。

皇學館大学地域社会研究会

情報提供：いせ市民活動センター

〒516-0016 伊勢市神田久志本町 1704 ☎ 0596-22-6380



今年、伊勢市内の商店街のお祭りに出店した屋台

「皇學館大学地域社会研究会」は、まちづくりや商店街活性化に関心がある学生が集まって、大学のある伊勢市を中心に大学生が地域社会の活性化について学ぶ活動をしています。中心的な活動としては、地域や商店街イベントへの企画や参加、伊勢市内の茶業者とコラボして三重県産茶葉を使って開発した「宇治山田の和紅茶」の試飲販売やPRを行っています。毎年、商店街でのイベントに屋台を出店したり、ゲームコーナーのゲーム機の作成やコーナー担当などもしています。「宇治山田の和紅茶」については県内外のイベント時に試飲会や販売を行い、伊勢茶の消費を増やすだけでなく、全国3位のお茶生産量を誇る三重県に興味を持ってもらうことを目的に活動しています。活動を通してさまざまな人と出会い、地域の新たな魅力を発見することができます。地域を社会教育の場として捉え、今後も活動を通して地域の魅力を発見し、発信していきたいと考えています。

電話等でご連絡ください。

皇學館大学地域社会研究会は、地域との関わりの中で三重県や伊勢の魅力を発見し、情報発信し、日本で誇れる三重県や伊勢を目指して、地域との関わりを大切に楽しく活動しています。

※お詫び 前号の三重ぐるり【テーマ：子どもの貧困（子ども支援・子どもの健全育成）】について、発行者の不手際により、今月号に掲載させていただきます。関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。

ジョイア

情報提供：津市市民活動センター

✉ miyahei1124@docomo.ne.jp



参加者の子どもたちに学習支援を行っている

外国にルーツを持つ子どもたちのなかには、親が日本語をあまり話せないなどの理由から家庭学習が困難となり、日常会話には問題がなくても、学習言語があまり育たないといった背景を持つ子どもも少なくはありません。また塾通いなど教育にあまりお金をかけられないケースもあります。そのため、私たちは、外国人にルーツを持つ子どもたちを対象に学習支援を行っています。

現在、三重大学の学生と社会人で構成されるメンバーで、週に1回（土曜日）活動しています。基本的にはマンツーマンで、子どもたちの学習レベルに応じた学習の補助を行っています。おもに学校の宿題や苦手科目また定期テストの出題範囲の勉強の手伝いをしています。また、ボランティア団体としては類似活動団体との交流を行い、団体の活動改善に積極的に取り組んでいます。

代表へ連絡ください。

ジョイアは気軽にボランティア活動を体験することができます。学生、社会人は問いません。私たちとともに活動してみませんか？

募集とご案内

ワイワイガヤガヤフェスタ 2017 ～第 24 回 歌と踊りで世界はひとつ～

各国の歌やダンスで楽しいひとときを過ごしませんか？津市在住の外国の人と市民が一堂に会し、相互理解を深めるなかで、それぞれの文化が共存できる豊かな地域づくりを考えるイベントです。

日 時 2017 年 1 月 29 日 (日)
13:00 ～ 16:00 (開場 12:30)

場 所 津リージョンプラザ お城ホール

参加費 無料

主催・問合せ先 ホームステイ・イン津実行委員会

電 話 090-2778-3786 (井早)
059-229-3012 (市民交流課国際・国内交流担当)

共 催 津市、津市国際交流協会

第 14 回 三重映画フェスティバル いわさきちひろ ～27 歳の旅立ち～

日 時 2017 年 1 月 29 日 (日)
午前の部 10:30 開演 (10:00 開場)
午後の部 14:00 開演 (13:30 開場)

※各上映前に三重映画フェスティバル実行委員会会長による解説あり

場 所 三重県立美術館講堂 (津市大谷町 11)

定 員 午前・午後 各 130 名

料 金 前売り 800 円 (当日 1,000 円)

前売り券販売場所 三重県立美術館ミュージアムショップ

主催・問合せ先 三重映画フェスティバル実行委員会

電 話 090-8735-8971 (田中)

共 催 三重県立図書館、三重県男女共同参画センター
「フレンテみえ」

後 援 三重県立美術館、三重県立美術館友の会

岡本かおり氏講演会 手話っていいね

手話に関して、まだまだ奥深くまで知らない方もいるのではないのでしょうか？

ここで色々学び、手話に対する面白さと楽しさを見つけていきましょう！

《第 1 部 講演会》

日 時 2017 年 2 月 11 日 (土・祝)
14:00 ～ 16:00 (受付 13:30 ～)

場 所 アスト津 3 階 図書・資料コーナー
(津市羽所町 700)

講 師 岡本かおり氏

参加費 1,500 円 (県内会員・県サ連・三重通研)
2,000 円 (県外会員・非会員)

定 員 35 名 (先着順)

申込方法 詳細は問合せ先までお問合せください。

申込締切 2017 年 1 月 27 日 (金)

主催・問合せ先 一般社団法人 三重県聴覚障害者協会青年部

FAX 059-225-0195

✉ tataro2222@yahoo.co.jp

《第 2 部》(17:30 ～ 19:30) についての詳細は、問合せ先までお問合せください。

生物多様性はなぜ大切な ～地域の生物多様性を守るための視点～

現在、自然環境が悪化し、「生物多様性」が低下してきています。人間は生物多様性の恩恵を受けていることを理解し、これ以上生物多様性を減少させないようにしなければなりません。

本講座では、生物多様性の大切さや、さまざまな視点を学び、行動していくための知識の習得を目指します。

日 時 2017 年 2 月 19 日 (日) 10:00 ～ 12:15

会 場 三重県吉田山会館 206 会議室
(津市栄町 1 丁目 891)

内 容 ◇生物多様性はなぜ大切な
◇生物多様性をめぐる問題
◇生物多様性を守っていくために

募集人数 50 名 (申込み多数の場合は抽選。その際は三重県在住の方を優先します。)

対 象 18 歳以上の方で
◇自然や環境問題に関心がある方
◇環境保全活動や啓発活動 (自然観察会などの実施) をしている方
◇環境教育に携わっている方
◇森のせんせい
◇環境学習情報センターの指導者養成講座の受講生、など

参加費 無料

申込方法 郵便・FAX・Eメールのいずれかで、講座の名称「生物多様性はなぜ大切な」を明記の上、氏名・郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号を下記までご連絡ください。

申込締切 2017 年 1 月 24 日 (火)

問合せ・申込先 三重県環境学習情報センター

電 話 059-329-2000 **FAX** 059-329-2909

✉ info@eco-mie.com

INFORMATION

みえ市民活動ボランティアセンター
からのお知らせ

SHO ガッコウ ～第6回講座報告と第7回講座のお知らせ～

12月11日に第6回講座「知りたい！世界の〇〇」が終了しました！

メンバー3人が自分の海外体験談を語りました。いつもとは違う少人数の座談会スタイルだったので、みんながすぐに質問でき、和気あいあいと楽しい会になりました。参加者の皆様、ありがとうございました。

次回、『知ってる？三重の伝統工芸』第7回は1月22日（日）に開催します。詳細はHPをチェック！
<http://mieshoggakko.jimdo.com/>



～参加者募集中！～

日 時 2017年1月22日（日）10:00～12:00

テーマ 『知ってる？三重の伝統工芸』

SHO ガッコウ初の体験型講座です！資料館見学や、伊勢型紙・鈴鹿墨の制作体験（別途料金が必要）ができます。

場 所 鈴鹿市伝統産業会館（鈴鹿市寺家3丁目10-1）

対 象 ①三重県に在住または通学・通勤している18～35歳くらいの方

②若者の自主性を尊重した応援をしたい36歳以上の方

③テーマに興味のある方

参加費 500円（SHO ガッコウメンバーは無料）

※伊勢型紙・鈴鹿墨の制作体験希望者は別途料金が必要です。

申込方法 ①お名前、②年齢、③お電話番号、④制作体験参加希望者はその旨を記載して、メール（mieshoggakko@yahoo.co.jp宛、件名に申込講座テーマを記入してください）にてお送りください。

※SHO ガッコウは、三重の若者同士がつながり、1人1人の個性が認められ、周りの目を気にすることなく自分の夢を語り、それに向かって進むことができる社会の実現に向け活動を行っています。毎月1回勉強会を実施し、普段出会う機会がない方たちとつながるきっかけをつくります。メンバーは随時募集中！当日申込も可能です！

問合せ先 SHO ガッコウ事務局

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

✉ mieshoggakko@yahoo.co.jp



『五感で楽しむ国際交流』が 好評のうちに終了しました！

12月4日に「多文化共生理解イベント Hand in Hand 2016 ～五感で楽しむ国際交流～」が行われました。来場者は15個のブースと4種類のステージで、さまざまな文化や民族音楽などを“五感”で楽しんでいました。足を運んでくださった皆様、ありがとうございました！



世界のコミュニティ講座を開催します！

今年度は、ニューヨーク出身の英会話講師をゲストに、全編英語で、アメリカと日本の学校の様子の違いや、日本に来て驚いたことなどを話していただきます。

日本に住んでいるとあまり聞くことのない、生の英語に触れられる機会です。是非ご参加ください！

日 時 2017年1月22日（日）10:00～12:00

場 所 みえ県民交流センター（アスト津3階）

参加費 無料

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津3階
みえ県民交流センター内

TEL 059-222-5995 **FAX** 059-222-5971

✉ center@mienpo.net

みえぎんNPOローン

好評取扱中

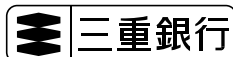
委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

長岡市米百俵財団 第 21 回米百俵賞

① 1 月 13 日 (金) 必着 ② 教育、文化、福祉、スポーツ、産業等の分野で、独創的な活動により人材の育成に大きく貢献し、「米百俵」の精神を今に体现する個人、団体 ③ 表彰楯と副賞 100 万円

公益信託地球環境保全フロン対策基金 平成 29 年度 (2017 年度) 募集

① 1 月 16 日 (月) 当日消印有効 ② オゾン層保護、地球温暖化防止に関する情報・知識の普及・啓発活動等を行う団体 ③ 1 団体 100 万円～ 500 万円 (総額 2,000 万円)

アジア・コミュニティ・センター 21 公益信託今井記念海外協力基金 2017 年度 助成対象事業

① 1 月 16 日 (月) 必着 ② アジアを中心とした開発途上国において援助・協力活動を行う団体 ③ 1 団体 50 万円～ 100 万円程度 (総額 650 万円)

交流協会 2017 年度後援助成

① 1 月 27 日 (金) 消印有効 ② 日本と台湾との学術交流及び日本の文化を紹介し、日本と台湾との学術・文化交流促進に取り組む NPO 団体等 ③ 講演会・研修、国際会議・シンポジウム等の旅費、会場費等

明治安田クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化分野への助成

① 1 月 31 日 (火) 当日消印有効 ② 古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「民俗技術」の継承や後継者育成のための諸活動に取り組む団体、個人 ③ 「民俗芸能」活動：1 件の上限 70 万円、「民俗技術」活動：1 件の上限 40 万円

三菱 UFJ 国際財団 2017 年度国際交流事業一般公募助成

① 1 月 31 日 (火) 消印有効 ② 国際理解・国際交流の推進につながる事業に取り組む団体 ③ 一般団体：1 団体の上限 100 万円、学生団体：1 団体の上限 50 万円

コンサベーション・アライアンス・ジャパン アウトドア環境保護基金 (後期)

① 2 月 15 日 (水) 必着 ② アウトドアフィールドを中心とした環境保護のために活動している環境団体 ③ 1 件の上限 50 万円

スタッフルーム

今年も無事年明けを迎えられました。みなさんは年末年始いかがお過ごしでしょうか? ゆっくり過ごせるといきや大掃除に始まり、初詣に行ったり、親戚回りをしたり、福袋購入に並んだりとなかなか休むのも難しいものです。さて前年を振り返って思い出すのは伊勢志摩サミットです。日本をはじめとする G7 の代表が集まる一大イベントに県内各地でサミット関連の取り組みを目にしていたのも記憶に新しいです。伊勢の大きなイベントはまだまだ続き、今年は「お伊勢さん菓子博 2017」があります。菓子博は 1911 年に東京で開始され今年で 27 回目となり 100 年以上も歴史がある博覧会で、ほぼ 4 年に 1 度開催していることもあり和菓子のオリンピックとも呼ばれています。東海地域では 1977 年静岡以来の 40 年ぶりとなります。三重県と言えば「おもてなし」。菓子博のテーマにもなっています。私も今回の菓子博が初参加です。去年の 5 月から前売り券を購入して今か今かと待ちわびています。(中島)

認定 特定非営利活動法人 (2016 年 11 月 10 日～2016 年 12 月 9 日認証分)

① 法人名 ② 主たる事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

① 特定非営利活動法人 ビバ・橋北
② 四日市市京町 4 番 12 号
③ 保健、社会教育、学術、子ども
④ 2016 年 11 月 28 日
⑤ 理事長 服部 浩明

① 特定非営利活動法人 桔梗
② 名張市蔵持町原出 1300 番地 2
桔梗が丘センタービル 3 階 301 号室
③ 保健
④ 2016 年 12 月 6 日
⑤ 理事長 中村 智之



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市 市みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市) 桑名市市民活動センター (いなべ市) いなべ市市民活動センター (東員町) というんボランティア市民活動支援センター (四日市市) 四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市) 亀山市市民協働センター (鈴鹿市) 市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市) 松阪市市民活動センター (伊勢市) いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市) 阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市) 名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市) 伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市) 東紀州コミュニティデザイン (明和町) めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町) 南伊勢町町民文化会館 (紀宝町) 紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

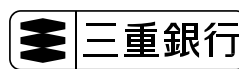
【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関 (地域防災総合事務所 [桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局 [南勢志摩、紀北、紀南]) / 三重県栄町庁舎 (情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / MieMu (三重県総合博物館) / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/ 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場 / 各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行



百五銀行
FRONTIER BANKING



JAバンク
三重県下 JA/JA 三重信連

株式会社 阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。